




2023年度 講師派遣活動記録

整理番号: 20231017

事業名	環境教育およびエコロジカルライフを実践するための講座開催事業		
活動名	「私たちの暮らしからプラスチック問題を考える」海洋プラスチック採取体験		
担当者	高根 美保	主催団体	NPO法人エコライフはままつ
事業区分	講師派遣	事業サイクル	継続事業

活動の目的
 浜松市教育委員会「はままつ人づくりネットワークセンター」登録講座開催
 海洋プラスチック採取体験から私たちの暮らしの中にあるプラスチックについて考える

実施内容	
活動日時	2023年10月17日(火)13:25~15:05
活動場所	浜松市立双葉小学校
活動者名	村河善信、高根美保
詳細	①ごみ拾い活動の実績から分かった、海洋プラスチックの現状説明 ②馬込川右岸河口付近にて採取した「浜砂17.75kg」から海洋プラスチックを探す体験 ③海洋プラスチックの分別作業 資料: 集計表、マイクロプラスチック説明資料、プラスチックごみぬりえ

事業の成果	<p>参加者 浜松市立双葉小学校5年生 34名</p> <p>①現状説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ拾い結果が自分達の通学路に落ちているごみと変わらないことに気づきがあった。 ・落ちてくるごみの種類からポイ捨てされたごみではないかとの推測した。(たばこの吸い殻が多い) ・川を通じて陸域からプラごみの流出をいかに抑えていくかが重要であるとの説明した。 <p>②体験 浜砂の中からプラスチック探し (目視判別)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6グループに分かれて、3ケースに分けた砂の中からプラスチックを探した。 ・浜砂をザルで振るいにかけて砂とプラスチックや植物とに分けた。砂遊びをするグループもあったが、丁寧に植物等を取り除いてプラスチックを探すグループもあった。 ・砂遊びをするグループが、植物やプラスチック等を取り除くとサラサラとしたキレイな浜砂となり感動していた。 ・植物の種と区別が難しい被覆肥料を見つけると次から次に取り出していた。 ・プラスチック加工品の原料として使用されるプラスチックレジンペレットについても宝探しのように探していた。 <p>③体験 分別作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り出したプラスチックの種類や色別に数を数えて袋にまとめた。 ・被覆肥料の多さに驚いていた。どのように使われているのか興味を持つ子が多くいた。 ・宝探しとなっていたレジンペレットも数を数えていうとその多さに驚いていた。 ・少し大きな形のプラスチックも分別作業中に小さく割れてしまい、マイクロプラスチックがつくられる行程を確認出来た。 <p>参加者の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「これからごみ拾いをやってみます。」
	  

事業の課題
 海岸のマイクロプラスチックは自然に分解されにくく、また回収することが難しいことから、この問題を解決するためには、市民のプラスチックごみを減らすための行動が必要です。使い捨てプラスチックのごみを出さない減らす行動に興味や関心を持ってもらえる工夫が必要である。

記録添付

